

HIGASHIOSAKA CENTRAL ROTARY CLUB

(第2660地区)

WEEKLY BULLETIN

No. 30

東大阪中央ロータリークラブ

創立 昭和47年2月20日
例会日 毎週月曜日 12:30~
例会場所 シェラトン都ホテル大阪
事務所 大阪市天王寺区筆ヶ崎町5-38
〒543-0027 ロイヤルパークス桃坂1112号
TEL. 06(6772)2320
FAX. 06(6772)2327
E-mail:hcrc@at.wakwak.com



会長 浅野 光 男
会長エレクト 岩 崎 史 郎
副会長 鈴木 勝 俊
幹事 小 川 高 弘
会報委員長 大 石 忠 克

Reach within to Embrace Humanity

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011~2012年度 国際ロータリー会長 カルヤン・バネルジー

第 1843 回例会 平成 24 年 3 月 12 日 (月曜日) 第 30 号

本日の例会

3月12日(月)第2例会

- ◎ソング 「奉仕の理想」
- ◎卓話 「健保組合の現状」
(担当:金子誠二会員)
- ◎本日の献立 フランス料理

次回の例会

3月26日(月)第3例会

- ◎卓話 「女性から見た”魅力的な紳士像”」
元NHKアナウンサー
株式会社ジュン・システムブレーン 代表取締役
吉村純子様
(担当:木村正一会員)
- ◎本日の献立 お造り定食

前回の例会記録

3月5日(月)第1例会

会長挨拶

会長 浅野光男

この季節「春雨」と言われよく雨が降りますが、その分暖かさが体を癒し、まぢかに歩み寄る春を感じておられると思いますがいかがでしょうか。本格的な春到来にはあと一歩3月20日の春分の日を待たなければならないのでしよう。

会員一同、一丸となって開催致しました40周年記念式典を無事終える事が出来まして、何だかぽっかりとした空間に我身がある様な感覚でございましたが、まだまだ山積した業務にふと我にかえり心を新たにネジを巻き替えているところであります。

米山奨学生の陸光杰君が無事めでたく卒業される事となり、終了証書と記念品が贈られて参りました。又、カ

ウンセラーとして長きに亘りお世話戴きました、百済会員への感謝状も併せて届いておりますのでお渡し致したいと存じます。

この時期になりますと次年度の組織その他活動計画と、岩崎会長エレクト並びに岡田副幹事におかれては、既に色々忙しくされていると思いますが、今期におきましても残りの活動及び引継ぎ事項についてはしっかりと務めて行かなければと心を引き締めているところでもあります。会員皆様方の更なるご協力をお願い致します。

幹事報告

幹事 小川高弘

1. 本日例会終了後、第9回定例理事・役員会を5階カトレアの間で開催致します。理事・役員各位は宜しくお願い致します。
2. クラブ例会変更及び休会の案内を掲示しています。
3. 東輪会ロースター用の校正をポストに配布しております。御確認下さい。尚、訂正がある場合は事務局まで御連絡下さい。
4. 4月9日(月)東大阪西ロータリークラブとの合同例会です。必ず御出席下さいませよう御願致します。

出席報告

小川幹事

| | |
|---------------|-------|
| 本日の会員数 | 35名 |
| 本日の出席者数 | 26名 |
| 本日の出席規定適用免除会員 | 12名 |
| 本日の出席率 | 96.3% |
| 2月13日の修正出席率 | 100% |

SAAニコニコ箱報告

和田副SAA

浅野会長 陸君、卒業おめでとうございます。又、百済カウンセラー並びに松岡米山委員長、長期に亘りありがとうございました。

小川幹事 誕生日プレゼントありがとうございます。

- 藤原会員 今日の卓話担当です。よろしく。
 宮崎会員 40周年お疲れさんでした。
 百済会員 米山奨学生のリク コウケツさん、3月にて2年終了します。これからも頑張ってください。
 鈴木会員 誕生日のお祝いの御礼。
 岩崎会員 3月になりました。今もよろしくお願ひ致します。
 松岡会員 今期無事米山の寄付金なんとかクリアしました。ありがとうございました。
 岡田会員 40周年記念誌の作成にご協力お願ひ致します。
 岡本会員 先週の例会欠席して失礼しました。誕生日の記念品をいただきありがとうございます。

委員会報告

米山記念奨学会委員会

委員長 松岡 武

今月で米山奨学生の陸くんの支援も2年間の最後です。本来ならば陸くん本人が来場すべきですが、40周年終了翌日より、母国上海に母親の見舞いを兼ねまして、2年以上帰っていないとの事で帰りました。

重ねて、今期米山の一般寄付と特別寄付が無事、集金できました。ありがとうございました。

以上、報告致します。

卓話 「2011年マスターズ観戦記」

藤原 英夫

昨年4月1日から10日まで、夢に見ていたマスターズトーナメントを見に行ってきました。奈良国際GCの友人から誘いがあり、めったにないチャンスと思い3人で行きました。トーナメント自体は、7日から10日までの4日間なのですが、友人の会社がアトランタにあるのでその会社の見学も兼ねて、またアトランタには素晴らしいゴルフ場が沢山あるので、早目に行くことにしました。

10日間、本当にいい天気にも恵まれ、旅行として申し分のないアメリカ旅行でした。4日間連続で有名なコースをラウンドした後、オーガスタから1時間半ぐらいのレイノルズリゾートに宿泊し、そこからマスターズを見に行きました。オーガスタは、ジョージア州にある、今は小さな村が三つ集まった町に成っていますが、コースの傍には、大きなホテルのような宿泊施設はなく、村はずれにドライブインがある程度の小さな町です。宝塚市が姉妹都市に成っているのには、驚きでした。その小さな村で世界の大イベントが行なわれますので、村中は1年に1回のお祭りの様な雰囲気です。全世界からこの町に集まってくるというような感じです。先ほど言いましたようにゴルフ場の周辺には、500坪位の大きさの住宅ばかりでホテルなどは全くありません。私たちも100キロ離れた所から行ったわけです。それで選手、関係者はみんなその村の家一軒を一週間借り切って臨むそうです。石川遼選手は80万位でかかっていたようです。

オーガスタ・ナショナル・ゴルフクラブのメンバーは

300名です。残念ながら日本人は1人もいません。1日、3万人位の方が入場するのですが、メンバー300人と村人に対し入場券が配られているようで、私たちが行った水曜日の練習日で1人900ドル、本チャンの金曜日で1,500ドルでした。これは村おこしの様なもので、村人たちも大変潤うわけでありです。その期間、家を貸して自分たちは旅行に出かけると言った具合です。

水曜日は指定の練習日で、客も多すぎる事がなかったので18ホール勿論歩いて回りました。クラブハウスが丘の上にあって1番、10番とくだって、9番、18番登ってくるという感じで、結構アップダウンがありました。ただコースには伸びたラフの様なものはなく、ゆったりとした幅の広いフェアウェイと大きな樹がセパレートしています。グリーンは一面に敷かれた様な状態です。10番、11番ホール以外はほとんどOBはありませんが、ボールが曲がると次のショットが大変難しくなり、平気で90度曲がるフックやスライスが打たなければなりません。おまけにグリーンはそう大きくないのに、うねっていますからピンと違う方向に向いて打つ練習をしていました。石川の時間と巧く合わず、リー・ウェストウッドや優勝したシュワルツェルのプレーを見ながら回りました。18ホール全てのホールに花の名前が付いていますが、やっぱりアゼリア(つつじ)がきれいでした。

この日は、練習コースで9ホールのショートコースがあり、余興の様な感じでパー3コンテストが行なわれていました。びっくりは4人ホールインワンが出ていました。また、大阪の花博でも作られた本当に美しい16番170ヤードのショートホールでは、プレーヤー皆が水切りショットをやってくれました。ほとんどの選手が巧いことワンオンしていました。これも驚きでした。夕暮れも近づきましたので、ドライヴィングレンジに行って、プロのショットをまぢかで見るとなりました。ここでも声を出す事やサインをねだる事は禁止されており、ピンと張った雰囲気でした。観客席があつて幅150ヤード、奥行き450ヤード位のびっしり芝の張られた素晴らしく美しい練習場で、距離ごとにグリーンが在り、各選手が思い思いにピンを狙って打っていました。石川遼君もドライバーで300ヤードのグリーンに向かって打っていました。流石と言うかどのプロも同じスピードで同じスイングでコピーを見ているようでした。ただ、石川は外国選手に比べると細くて小さくて、良く頑張っているなあと感じました。日本人と違い、見に来ているアメリカ人の大きさを考えるとチョット人だけになると何も見えないのが現実で、本チャンの日は16番のみで観戦することにしました。テレビで見ている方が流れが良く分かったのではないのでしょうか。今年は、6月にイギリスで結婚式がありますので、セントアンドリュースGCにトライしたいと考えています。